



(地Ⅲ166F)

平成 23 年 11 月 1 日

都道府県医師会・都市区医師会
感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長
保 坂 シゲリ

季節性インフルエンザワクチンの供給量について

今期のインフルエンザワクチンの供給量につきましては、9月12日付(地Ⅲ128)、同22日付(地Ⅲ134)、10月6日付(地Ⅲ147)文書をもってご連絡申し上げたところです。

今般、北里第一三共ワクチン株式会社において、年内に出荷を予定していた残りのワクチンについて、同社の品質試験でウイルスの混入はなく、規格に適合したことから、供給量の見込みが下記ならびに別添のとおり更新された旨、厚生労働省より本会に情報提供がありましたのでご連絡申し上げます。

つきましては、本件について貴会会員に周知いただきたく、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、今後も供給状況につきましては必要に応じ情報提供してまいります。

記

インフルエンザワクチンの供給予定量(10月31日現在): 約 2,860 万本
(第3報(10月5日現在): 約 2,850 万本)
うち、北里第一三共ワクチン株式会社の製造予定量 : 約 358 万本
(第3報(10月5日現在): 約 353 万本)

※第3報からの変更点

・原液の製剤化の工程で約 10 万本を増産予定。

事 務 連 絡
平成23年10月31日

社団法人日本医師会感染症危機管理対策室長
保坂 シゲリ 殿

厚生労働省健康局結核感染症課

季節性インフルエンザワクチンの供給量について(第4報: 10月31日時点)

本年9月に、北里第一三共ワクチン株式会社(以下、「北里」という。)が製造中の季節性インフルエンザワクチン(以下「ワクチン」という。)の一部でトリレオウイルスの混入が確認され、約236万本分のワクチンを出荷することができなくなったことを踏まえ、今シーズンのインフルエンザワクチンの供給予定量を随時情報提供しているところです。

今般、北里において、年内に出荷を予定していた残りのワクチンについて、一部国家検定の結果を待つ必要がありますが、自社の品質試験で、ウイルスの混入はなく、規格に適合したとの連絡がありましたので、お知らせいたします(別紙参照)。

また、供給量の見込みが、前回の情報提供(10月5日)から更新されましたので、本日時点での供給量の見込みについて情報提供いたします。

今後とも、随時、情報提供を行ってまいります。

記

インフルエンザワクチンの供給予定量(本日現在): 約2,860万本
(第3報(10月5日現在): 約2,850万本)

うち、北里の製造予定量 : 約358万本
(第3報(10月5日現在): 約353万本)

※第3報からの変更点

- ・ 原液の製剤化の工程で約10万本を増産予定。

以上

別 紙

2011年10月31日

各 位

会 社 名 第 一 三 共 株 式 会 社
代 表 者 代表取締役社長 中山 譲治
(コード番号 4568 東証・大証・名証各第1部)
問合せ先 執行役員コーポレートコミュニケーション部長 斎 寿明
TEL 報道関係者の皆様 03-6225-1126
株式市場関係者の皆様 03-6225-1125

『インフルエンザHAワクチン「北里第一三共」』
『インフルエンザHAワクチン「北里第一三共」シリンジ』
の供給計画に関するお知らせ

先般、第一三共株式会社の国内グループ会社である北里第一三共ワクチン株式会社が製造しております『インフルエンザHAワクチン「北里第一三共」』並びに『インフルエンザHAワクチン「北里第一三共」シリンジ』の一部のバッチ（製造の単位）について、社内規格試験の基準を満たさなかったため、236万本の出荷ができないことをお知らせいたしました。その後、試験未実施であった残りのロット（約240万本）について、社内規格試験を実施しましたところ、全ロットが社内規格に適合しましたのでお知らせします。

製品は国家検定を経て10月下旬以降、順次、出荷を開始しております。また、追加生産をしております120万本のワクチンにつきましても、2012年1月上旬には出荷できるよう、鋭意取り組みしております。

当社は、今後とも行政当局と緊密に連携し、ワクチンの供給に最善を尽くして参る所存です。本件に関しまして、関係者の皆様には、多大なご迷惑をおかけしていますことを改めましてお詫び申し上げます。

以 上